

募 集 要 項

| | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 氏 名：福富 言 | 研究室：第 4 研究室棟 4K104 |
| 専攻分野：マーケティング | |
| 演習テーマ：マーケティング・リサーチとコンテンツ制作 | E-mail：genf@cc.kyoto-su.ac.jp |

演習内容・主なテキスト

このゼミの目標は、マーケティングに関わる様々な現象（生産者や消費者、流通業者などの思惑や行動）について、受講生が本人の関心にもとづいて調査を企画・実施できるよう、担当者を含めた全員で建設的な議論をすることです。また、このゼミを通じて、受講生が「経営学部に来てマーケティングを専攻し、一体自分が何をやっているのか。自分が何を考えているのか」を友人・知人や家族、ゆくゆくは就職活動時などの面接員を相手に丁寧に説明できるよう、プレゼンテーション能力を高めることを目標としています。

テーマの大枠を提示することはありますが、調査課題は基本的に自由です。したがって、【楽しいこと】を見つけられない人はつらいでしょう（【楽なこと】とは違います）。

【基本的なことがらの確認】の教科書としてこれまで、余田拓郎・田嶋規雄・川北眞紀子著、『アクティブ・ラーニングのためのマーケティング・ショートケース』、中央経済社、2020年、および西川英彦・澁谷覚編著、『1からのデジタル・マーケティング』、碩学舎、2019年、などを利用してきました。

<演習 1>

2年次は【楽しいこと探し】と【基本的なことがらの確認】を中心に進めます。とにかくまずは、世の中の出来事、企業や消費者の行動などについて見聞を広めてもらいたいと思います。そのために、フィールドワークやアンケート調査などを実施して、五感のすべてを使って調査することのトレーニングを行います。調査結果の報告やディスカッションを通じて、【問題設定→調査課題・調査方法の決定→調査の実施→結果の解釈→問題設定→...】を learning-by-doing していただきます。また、調査の方法やマーケティングについての基本的なことがらを本や事例を用いて確認していきます。

今年度は、動画編集の課題や YouTube コンテンツの制作を前倒しで課題としました。

<演習 2>

演習 1 から引き続き、重厚なテーマから身近な話題まで、個人・グループ、制限時間の長短、スライド資料あり・資料をまったく使わないスピーチなど、多様なプレゼンテーション課題にチャレンジする機会をつくります。

今年度も、YouTube と Bilibili（中国の動画配信サービス）の収益化を目指したコンテンツ制作を課題とし、どのような施策が登録者数や再生数に影響を及ぼすのか、体験することを目標としています。

<演習 3>

3年次には、独自にテーマを設定し、調査をする方法についてある程度の知識がえられているはずですが、2年次よりも大きなテーマで、より長い時間をかけて、調査課題を自分で設定し、追求してください。

今年度は、各自の興味のある業界や企業についてのプレゼンテーション機会を設けました。メディアやアパレル、信託銀行や広告制作業、紡績業などの発表がなされました。宣伝会議社主催の販促コンペへの応募作品の制作をした学生もいます。

<演習4>

継続して、独自の研究課題の追求をすすめます。研究発表の準備に必要な期間は、ディベートやグループ・ディスカッションの練習にあてたり、「いかに自分自身をマーケティングするか」、就職活動にも役立てることを期待して、例年エントリー・シートの作成を課題にしています。

今年度も、現4年生が就職活動で実際に体験したグループ・ディスカッションを課題とするなどしています。

<演習5・6>

卒業論文を執筆するために、二次データの収集や分析を十分におこない、必ず一次データ（受講生が独自に収集したデータ）を使って、定性的・定量的な分析をします。昨年は、日本のビール会社の海外進出、売れている料理レシピ本の内容分析、小売業のSNSマーケティングなどをテーマに、卒業論文を準備している学生がいました。

教員からの要望

マナーの備わっている人、言い出しっぺ、おせっかい、活発な議論に貢献できる人を募集します。

プレゼンテーション当日の欠席など、責任感に欠ける行動にはその回数に関わらず厳正な対応をする可能性があります。

履修希望科目

マーケティングや経営戦略に関する知識を身につけてほしいです。調査の方法論を学び、統計的な分析にもチャレンジしたい人は「マーケティング・リサーチ」の受講も検討してください。もちろん一般教養も大事ですし、「勉強して楽しいと感じることができる科目」があれば自由にどうぞ。

教員の自己紹介

<https://www.kyoto-su.ac.jp/faculty/professors/bu/fukutomi-gen.html>

ゼミ生からの紹介

福富ゼミは一言で表すと「自由」が売りのゼミです。好き勝手していいという意味ではなく個性を活かしながら自分たちの好きなことについて触れることができます。毎回の授業のはじまりで先生が「何か言い出しっぺある人～」と言って始まります。このようにリーダーシップを大切にしているゼミです。また、他のゼミに比べるとプレゼンが多いです。そのため人の前に立ち話すことの苦手意識がなくなります。私たちはYouTubeでの収益化を目指して頑張っています。ただ動画を撮って出すだけではなく、自分たちのチャンネルはどのような工夫をして他との差別化をどうするかなどプレゼンを通してこれからのビジョンを明確にしています。1人1人が意見を出してみんなで協力して頑張っています！興味がある方はぜひ(*^*) (現2年生・K)

このゼミは、他のゼミよりもとても自由度が高く、自分のしたい事ができるゼミだと思います。なので活動していて、とても楽しく、やりがいがあると思います。1回生の皆さん是非入ってみてください。(現2年生・Y)

福富ゼミでは、主にYouTube活動を行っています。動画を投稿するまでは大変ですが、達成感が得られるので楽しんで活動できています！また先生と生徒の距離も近いので、授業をのびのび受けられます！(現2年生・S)